

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0901023

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	A		
単位施策	5	農業による地域の活性化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	農畜産物を活用した食品の開発調査推進事業		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	加工食品の開発		関係課	#N/A		
事業目標	地元農畜産物の加工		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	2	開発調査の協力、情報の提供	関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	酪農経営の安定化、地産地消の推進、地場製品のブランド化を図るうえで、2次加工製品の開発が重要であることから、製品開発に向けた取組を実施する。 また、新たな農産物の生産に向けた取り組みとして、カラフト豆の試験栽培を実施し、将来的に特産品としてのブランド化を目指すこととしたい。	情報の収集 研修会等の参加	関係機関、団体等との検討 研修会等の参加	関係機関等との検討 カラフト豆の試験栽培	関係機関等との検討 カラフト豆の試験栽培 試験ほ場用電牧設置(30a×2ヶ所)	関係機関等との検討 カラフト豆の試験栽培	
	事業費(千円)	3,220	50	100	1,170	1,150	750
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,220	50	100	1,170	1,150	750	
実績事業費	事業費(千円)	2,840	45	45	1,143	1,134	473
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,840	45	45	1,143	1,134	473	
関連事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		情報の収集	関係機関、団体等との検討	関係機関、団体等との検討 試験栽培(カラフト豆、タッタンソバ)	関係機関、団体等との検討 試験栽培(カラフト豆、タッタンソバ)	関係機関等との検討 カラフト豆の試験栽培
			※前年度評価結果	※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果 B-継続/拡充	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	調査・検討	調査・検討	調査・検討・試験栽培	調査・検討・試験栽培	調査・検討・試験栽培
		年度達成率	90%	45%	98%	99%	63%
	全体達成率	1%	3%	38%	74%	88%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	

事業名	農畜産物を活用した食品の開発調査推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	辻 栄 浩 二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業生産物	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	加工品の確定								
【抱える課題やニーズは】	加工品種が限定されており、新たな製品を開発するための情報や専門的知識不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新たな加工食品の開発	① 調査、検討、試験栽培	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1品</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1品</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1品	実績値	1品	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1品										
実績値	1品										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	新たな加工製品の開発により農産物のブランド化を図り、原料の供給による酪農業の振興	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	加工食品の開発に向けた試験栽培	カラフト豆の試験栽培委託									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	畑作転換への試験的な取組みとして気候風土に適した作物の試験栽培を実施するもので、将来的な農業振興の基盤づくりを図るため、積極的に実施する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	新たな加工製品の開発のためカラフト豆の試験栽培を行って、収量や生育状況等の検証を行うことができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	(有)アグリファームの管理敷地内(町有地)で試験栽培を行うことにより土地使用料がなく、農作物の栽培管理を熟知している同社に試験栽培を委託することで経費削減・作業の軽減・労働力の削減が可能となり、事務事業の効率化が図られた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	将来的な農業基盤づくりを進めることにより、本町の基幹産業である農業の振興を図るものであり、地域の活性化に貢献する事業であることから、町民の理解が得られるものと判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
新たな加工製品の開発のため、カラフト豆の試験栽培を行って収量や生育状況等の検証を行うことができたが、加工製品の開発に向けた取り組みまで至らなかった。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持	継続/現状維持	
農産物の付加価値を高めるためには、新たな加工製品の開発が必要であり、引き続き行政主導で実施する必要がある。	同左	

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止